

「(仮称)新潟駅万代広場整備計画(案)」に対する パブリックコメント手続きの実施結果について

「(仮称)新潟駅万代広場整備計画(案)」について、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見に対する市の考え方をまとめましたので、結果を公表します。いただいたご意見を踏まえた上で、当整備計画を基本としながら、今後、詳細な設計を行っていきます。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約し掲載させていただきましたので、ご了承ください。

■意見募集期間

令和2年7月1日(水曜)～7月31日(金曜)

■広報手段(意見募集の周知)

- ・市長記者会見にて発表
- ・市報にいがた、市ホームページ、市 Facebook に掲載
- ・市政情報室、新潟駅周辺整備事務所、各区役所、各出張所、中央図書館にて資料配布

■ご意見の提出状況、案の修正

- ・意見提出者数：43名(提出方法：郵送1、FAX5、電子メール31、窓口へ持参6)
- ・意見数：177件

■結果公表日

令和2年9月末(予定)

■結果公表場所

結果は市ホームページ及び、次の場所で閲覧できます。(閉庁日、休館日は除きます)

- ・市政情報室(市役所本館1階)
- ・新潟駅周辺整備事務所(新潟市中央区笹口1丁目2番地2 プラーカ2 7階)
- ・各区役所(資料の設置場所は各区地域課・地域総務課へお問い合わせください)
- ・各出張所
- ・中央図書館(ほんぽーと)

■問い合わせ先

新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所

〒950-0911 新潟市 中央区 笹口1丁目2番地2 プラーカ2 7階

電話：025-245-1261 FAX：025-245-1259

E-mail：ekishu@city.niigata.lg.jp

「(仮称)新潟駅万代広場整備計画(案)」に対するパブリックコメントに寄せられたご意見の概要及び市の考え方 【概要版】

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	新潟らしさ について (25件程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボリックなモニュメント、巨大なモニュメントを設置して新潟らしさを表現すべき ・見直し前のデザイン(港、歴史、水都、柳都、ガス灯などのイメージ)が良い ・里山はどこにでもあり、新潟に里山というイメージはない ・新潟らしさについて再考すべき ・現バスターミナル上屋を残すことで、新潟らしさを創出できるのではないか 	<p>広場の新潟らしさについては、シンボリックなオブジェを配置するのではなく、大河や潟の水を表現した透明感のある水色のシェルターや、築山で美しい里山を表現し様々な樹木を用いた植栽により、広場のコンセプトである新潟の豊かな自然を象徴する「都市の庭」を作り出し、新潟を印象付けるモニュメンタルな空間とするとともに、この広場で新潟の酒・食を用いたイベントを展開するなど、市民の皆様が自由に広場を使うことによって、時間の経過と共に新たな「新潟らしさ」を創造していくこととしています。</p> <p>今後、当整備計画(案)を基本として詳細な設計を進めていきますが、さらに新潟らしさを表現できるよう検討していきます。</p> <p>なお、現在のバスターミナル上屋は占用物件であり、老朽化も進んでいることから、広場の整備に伴い、占用者が撤去する予定となっています。</p>
2	意匠 について (20件程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・シェルターの大きさは統一された方が良い ・シェルターから「河」「潟」をイメージできない ・青いシェルターと黄色いタイルは合わない ・ペDESTリアンデッキからの眺望を魅力的なものにしてほしい 	<p>基本的なデザインについては、当整備計画(案)を基本として、今後、詳細な設計を進めていきますが、機能性や技術的な検討も踏まえ、より魅力的な施設となるように色合いや形状を検討していきます。</p>
3	歩行者通行の 環境について (30件程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインより機能性を重視してほしい ・シェルターの幅が狭い(南口広場の教訓を活かしてほしい) ・シェルターは車道部分に張出し、バス等の乗降時に雨や雪にぬれないようにすべき ・広場西側や広場を横切る動線にもシェルターが必要 ・広場全体を覆うようなシェルターが必要 ・防風壁は部分的ではなく全面的に必要 ・広場中央部西側にも昇降施設が必要 ・植栽が歩行者動線を遮らないようにしてほしい ・バリアフリーに十分考慮してほしい ・駅舎内の動線を教えてほしい 	<p>広場全体を屋根で覆うことは、開放感やコスト等の面から採用しない考えですが、歩行空間については、デザインだけでなく機能性も重視して、天候が悪い時にも出来るだけ快適に通行できるように、シェルターや防風壁の幅、形状等について技術的な検討や経済性も踏まえ詳細な設計を進めていきます。さらに、誰もが安心・安全に通行できるよう、バリアフリーに十分配慮するとともに、植栽が歩行者動線を遮らないような配置計画とします。</p> <p>また、駅舎内の動線については鉄道事業者が検討しているところですが、広場中央部西側への昇降施設設置については、駅舎の中で代替機能が確保できる予定です。</p>

(案)

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
4	ペDESTリアンデッキについて (10件程度)	<ul style="list-style-type: none">・なぜ規模を縮小したのか・当初の計画通り整備すべき	<p>当初計画では、南北方向のペDESTリアンデッキを整備する計画としていましたが、自動車交通量の変化などを踏まえ、広場内の主動線を地上レベルにするという計画の見直しを行いました。</p> <p>その際には、市民ワークショップを開催し、地上部が主動線となることにより、広場を利用する方が増加し、賑わいが向上するほか、デッキがないことで開放的な広場空間が形成されるというメリットのほか、2階レベルでの移動ができなくなるというデメリットも含め、市民の皆様と意見交換を行い、南北方向デッキは周辺の開発動向を見ながら段階的に整備を行う方針としました。</p> <p>なお、現段階では、南北方向のペDESTリアンデッキを整備する予定としておりませんが、2階レベルの連続した歩行者動線を確保できるなど、一定の効果が期待されることから、駅周辺のまちづくりや、駅からまちへのつながりの観点を踏まえ、引き続き、周辺の開発動向を注視しつつ、民間と連携しながら、検討していきたいと考えています。</p>
5	案内サインについて (10件程度)	<ul style="list-style-type: none">・市民、障がい者、観光客、外国人など、誰にでも分かりやすいサインの整備が必要・交通ターミナルとしての機能を充実させるため、様々な交通を複合的に活用できるシステムが必要	<p>案内サイン等の具体的な計画については、今後、詳細な設計の中で検討していきますが、障がい者や外国人等、誰にでも分かりやすい案内となるよう配慮します。また、交通結節点として各移動手段の利用や乗換え利便性が向上するように ICT 等を活用した各種サービスの提供についても、関係機関と連携して別途検討していきます。</p>
6	維持管理について (5件程度)	<ul style="list-style-type: none">・植栽や芝生の手入れの方法はどうするのか・シェルターに落葉等がたまらないよう管理できるのか	<p>具体的な施設の維持管理方法については、今後、詳細な設計の中で検討していきますが、広場の利活用に加えて維持管理についても官民連携で運営していけるようなエリアマネジメント組織の立ち上げ等についても別途検討を進めていきます。また、維持管理のしやすさも考慮した施設計画とすることで、ランニングコストの低減を図っていきます。</p>
7	ライトアップについて (5件程度)	<ul style="list-style-type: none">・新潟をイメージできる色を使ってほしい・積雪時のイメージがわからない・ペDESTリアンデッキ上から見る場合だけでなく、広場側から見ることも想定すべき	<p>ライトアップの具体的な整備内容や運用方法等については、照明としての機能性やデザイン性、また各視点からの見え方や積雪時の対応等を考慮して、今後、詳細な設計の中で検討していきます。</p>
8	その他 (70件程度)	<ul style="list-style-type: none">・自転車に乗って通行できるようにすべき・車両検知式の自動ドアをバス乗降場に整備してほしい・バス、タクシー、自家用車それぞれ渋滞が懸念される・トイレを広場に整備すべき・新しい生活様式に考慮した計画とすべき・建設事業ではなく他の事業に予算を投じるべきではないか	<p>広場内は自転車を降りて所謂「押しチャリ」で通行する計画です。現在、バス乗降場に車両検知式の自動ドアは整備する予定はありません。今後、詳細な設計の中で、バス、タクシー、自家用車が渋滞しないようさらに検証を行うとともに、トイレの設置の是非についても検討していきます。</p> <p>また、広場整備計画においてはコスト面も考慮するとともに、新しい生活様式についてどこまで考慮した計画とすべきかも踏まえ、今後、検討していきます。</p>